**大阪府入札監視等委員会 入札監視第１部会　平成28年度第１回定例会議　議事概要**

１　開催日時　　平成２８年６月２１日（火）午後１時30分から午後４時30分

２　場所　　大阪赤十字会館　４階　401会議室

３　出席委員　　５名

４　審議対象期間　　平成２７年１２月1日から平成２８年３月３１日まで

５　会議の概要　　審議対象期間中の、入札方式別の発注案件の状況、入札参加停止措置等の状況、談合情報等の処理状況について事務局、担当課から内容の説明を求めた上で審議を行った。

また、大阪府が契約締結した建設工事（予定価格250万円を超えるもの）、測量・建設コンサルタント等業務（予定価格100万円を超えるもの）、委託役務業務（予定価格100万円（物件の借入れについては、80万円）を超えるもの）、物品購入（予定価格160万円を超えるもの）総契約件数608件の中から次の13件を委員が任意抽出し、事案ごとに担当の発注部局から入札・契約の過程及び内容の説明を求めた上で審議を行った。

 (抽出事案一覧)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 入札方式 | 案　　件　　名 | 契約金額(円) |
| 建設工事 | 一般競争 | 淀川水系　中の谷川　渓流保全工事（Ｈ２７） | 76,140,000 |
| 一般競争 | 一般府道　沢良宜東千里丘停車場線　沢良宜浜歩道橋撤去工事 | 50,868,000 |
| 一般競争 | 泉佐野丘陵緑地　水辺の広場周辺整備工事 | 39,322,800 |
| 一般競争 | 一級河川　西島川　浚渫工事（西島橋上下流）Ｈ２７ | 18,338,400 |
| 一般競争 | 一級河川　前川改修工事（車道橋上部工） | 11,016,000 |
| 一般競争 | 大阪府社会福祉会館冷却水・冷温水ポンプ設備及び付帯制御機器取替工事 | 5,400,000 |
| 一般競争 | 花の文化園入園ゲート前広場舗装（２７）工事 | 3,402,000 |
| 随意契約 | 狭山池ダム　２７年災第３号災害復旧工事 | 39,387,600 |
| 建コン | 一般競争 | 安威川ダム大岩地区建設発生土受入監理業務委託（Ｈ２７） | 8,301,960 |
| 委託役務 | 一般競争 | 大阪府女性相談センター給食調理業務（その２） | 29,796,120 |
| 一般競争 | 一級河川　平野川分水路外　排水機場外自家用電気工作物保安管理業務（その２） | 8,699,076 |
| 一般競争 | 一級河川　石川管理業務 | 2,127,600 |
| 一般競争 | 平成２７年度　機械電気等設備機器価格調査業務 | 3,013,200 |

６　審議の結果：　抽出した13件の処理状況は概ね適正であると認める。

７　委員からの質問とそれに対する回答：　別紙のとおり

（別紙）

| 質問 | 回答 |
| --- | --- |
| 【淀川水系　中の谷川　渓流保全工事（Ｈ２７）】 |  |
| 　この案件は、１回目の入札が不調で、２回目の入札では応札者が１者で落札率は９９．４７％と高いが、入札参加可能なのはC等級の業者に限られている。他の案件では、B・C・D等級も参加可能と広げているものもあるようだが、そのような検討はされなかったのか。 | この案件は、施工現場が民家に隣接していたり、府道の通行止めができず施工条件が厳しいことや施工の手間がかかる点はあるが、技術的にはC等級の業者で十分施工可能と考え、この条件で発注した。 |
| 予定価格はどのように設定したのか。また、見積もりを取る際に、業者から聞き取りをされるようなことはあるのか。 | 　予定価格は、必要な材料費、施工費などについて積算基準に基づき積み上げで積算している。　ボックスカルバートについてのみ見積りを採用したが、その際、業者からの聞き取りは行っていない。 |
| 　入札参加資格で営業所の所在地が近隣の業者しか参加できないようになっているが、もう少し広げた方が競争性が高まったのではないか。 | 　池田土木事務所管内で登録業者は47者おり、競争性は確保されているという判断をした。 |
| 　施工条件が厳しいのなら、予定価格を少し上乗せしたりというようなことは考えられないのか。 | 地方部の一般交通の影響を受けるなど現場条件が厳しいということを考え、仮設費や現場管理費については、若干補正している。 |
| 　なお一層の配慮の余地はないのか。 | 今後、引き続き考えてみる。 |
|  |  |
| 【一般府道　沢良宜東千里丘停車場線　沢良宜浜歩道橋撤去工事】 |  |
| 歩道橋が隣接する私有地に跨って立っており、その私有地の所有者が建物を撤去することから、その撤去に合わせて本工事を行う必要があるため、年度後半の発注となり、結果的に入札参加者が少なくなったようだが、もう少し、計画的に前倒しで工事を進めることはできなかったのか。 | 歩道橋は、民地側に連続してつながっている上、橋脚が民地側にあり、工事のタイミングを合わせる必要があった。また、歩道橋には、信号機が設置されており警察との協議も必要であり、その結果、全てのタイミングが合った平成２７年度末に、歩道橋を撤去する計画を立てたもの。入札については、参加可能業者数は18者いると考えていたが、参加申込したのが３者で２者が辞退したという結果になった。 |
|  |  |
| 【泉佐野丘陵緑地　水辺の広場周辺整備工事】 |  |
| 　D等級に限っていた参加可能等級をB・C等級へ広げたのはどういった理由か。 | 　この建築工事については、過去にD等級だけを対象としてきたが、入札参加者が少なく不調となるケースもあったため、B・C等級へも拡大して、より多くの事業者に参加してもらおうと考えた。 |
| 　参加可能等級を拡大したことで効果はあったのか。 | B等級が9者、C等級が16者、D等級が18者と各等級とも参加があり、拡大したことで参加業者数も増えたと考えている。 |
| 　バイオトイレを今回採用した理由は何か。 | 本案件の公園が山間部にあり、下水道計画区域の対象外であることと、近くに池があり、農業水路として使っているためそこに処理水を流せないことから、汲み取り型の便所を設置する必要があった。汲み取り型の場合、通常はバキュームカーで処理に行くが、勾配や狭小な道で入れないためバイオトイレを採用することになった。 |
|  |  |
| 【一級河川　西島川　浚渫工事（西島橋上下流）Ｈ２７】 |  |
| 　浚渫業者はどのくらいいるのか。 | 登録業者は、35者程度いる。 |
| 20者申込があったが、実際の入札が3者となったことについてはどのように考えているか。 | この案件は規模がかなり小さく、施工場所へ進入するための水門も制約があることから辞退が多かったものと考えている。 |
| 　規模が小さいため、参加者が少なくなったという説明があったが、他のエリアと合わせて行うようなことは検討されなかったのか。 | 他のエリアは今のところ浚渫する必要はないと判断したのと、施工場所を航行する船舶との調整で、長期間浚渫船を停泊させることができなかったため、必要最小限の規模での発注となった。 |
|  |  |
| 【一級河川　前川改修工事（車道橋上部工）】 |  |
| 　この案件は２者の参加だが、対象業者はどのくらいいるのか。 | 参加可能業者は、78者いる。 |
| 　78者もいながら参加が２者だったことはどのように考えるか。 | 護岸工事をやっている業者と調整が必要なことや、民家が連続している中での施工といった条件と、工事金額を比較して敬遠されたのかと考えている。 |
| 【大阪府社会福祉会館冷却水・冷温水ポンプ設備及び付帯制御機器取替工事】 |  |
| 　失格者が多いことについてどのように考えているのか。 | 　管工事については、通常工期が２か月程度必要だとメーカーから聞いていたが、大阪府社会福祉会館は貸事務室や貸会議室業務を日常的に行っていることから、早期にリスクを回避する必要があることを踏まえ、１．５か月の工期とし、深夜工事を前提とした。入札額の積算について、その点を考慮せずに入札した業者が失格になったのではないかと考えている。 |
| 　辞退者も多い理由としてどのようなことが考えられるのか。 | 辞退者については、年度末の工事ということや、他の工事の入札との比較で本案件は工期が短いということで辞退したのではないかと考えている。 |
| 　 |  |
| 【花の文化園入園ゲート前広場舗装（２７）工事】 |  |
| 　辞退者が多いのはどのような理由が考えられるのか。 | 年度末で仕事が忙しくなっていたこと等もあり辞退者が多かったのではないかと考えている。 |
|  |  |
| 【狭山池ダム　２７年災第３号災害復旧工事】 |  |
| 　落雷による復旧工事ということだが、５号随契（緊急の必要で入札できないとき）としなかった理由を説明してほしい。 | 　今回、５号随契を適用しなかったのはダムとして最低限動いてほしいもの、水位計、開度計、流量計等は故障しなかったことから５号随契を行ってまで復旧の必要はないと判断した。また、被災直後の損傷の応急対応は、通常の保守点検の契約で対応させたことから、別途５号随契を行って復旧する必要はなかった。 |
| 　見積書比較予定価格は、どのように算定したのか。また、契約者から何度か見積書を徴取しているが、何か方針があるのか。 | 　予定価格は、主な機器の復旧に関しては契約者からの見積りを取り、汎用品は他社の額とも比較し、また、据付、下準備調整の積算は積算基準により算出している。　また、随意契約ガイドラインにおいて、随意契約時でもできるだけ安価に契約できるように努めることとされており、今回は３回見積りを徴取した。 |
|  |  |
| 【安威川ダム大岩地区建設発生土土砂受入監理業務委託(H27)】 |  |
| 　辞退者が多かった理由はどのように考えているのか。 | 　本業務のため、現地に４カ月間２名の技術者を現地調査員として配置できる体制を整えることができなかったのが主な理由と考えている。 |
| 　予定価格はどのように設定されているか。 | 　業務の実績がある13者から見積りをとり、そこから予定価格を算出した。 |
|  |  |
| 【大阪府女性相談センター給食調理業務（その２）】 |  |
| 　予定価格はどのように設定しているのか。 | 　予定価格は府の基準により積算している。 |
| 　入札者が少なかった理由としてどのようなことが考えられるのか。 | 　乳児から高齢者まで対応する必要があることに加え、食数が変動することなど様々な制約があることから、業者にとって業務に魅力がなかったのではないかと考えている。 |
|  |  |
| 【一級河川　平野川分水路外　排水機場外自家用電気工作物保安管理業務（その２）】 |  |
| 　一度不調になり、２度目でも１者入札だが、過去に今回の業務を発注した際も１者入札だったのか。今回たまたまだったのか。 | 平成22年度、24年度に今回業務と同様の内容で一般競争入札をしているが、その時は複数の入札者があった。 |
| 　保安管理業務は必ず必要になると思うが、１度目は不調ということで、入札者を増やすような工夫はないのか。 | 　保安業務を履行するには電気事業法施行規則第52条の２の第２項等の要件を満たす必要があり、参加資格を緩和するのは難しいと考えている。 |
|  |  |
| 【一級河川　石川管理業務】 |  |
| 　１者入札になった理由としてどのようなことが考えられるのか。 | 過去の経過をみると、これまでは２、３者の入札であった。今回は開札が２月１０日だったが、これまではこれより早い時期の入札を行っており、年度末で他の業務を抱えていると入札に参加しにくい状況もあったかと思うので、今年度はもう少し早めに入札手続きを改めていきたいと考えている。 |
| 　コード０６１（産業廃棄物(収集･運搬)）は６７２者の登録があるとの説明があったが、それにもかかわらず参加者が少ない理由は分析されているのか。 | この業務は、過去の入札では履行場所に近い富田林近辺の業者が応札している。業者の営業所の所在地は、大阪市内に集中する傾向があり、それ以外になると少なくなるのかと考えている。 |
|  |  |
| 【平成２７年度　機械電気等設備機器価格調査業務】 |  |
| 　１者入札になった理由としてどのようなことが考えられるのか。 | 　本業務は過去の蓄積データや見積価格と実取引額を評価する経験が重要と考えている。調査項目も多岐にわたり人員もそれぞれ専属で配置する必要があるということから参加者が限られたのかと考えている。 |
|  |  |